

# 募集人数

学部	学科・専攻・コース・プログラム	統一入試		一般入試		英語外部 検定試験 利用入試	大学入学共通テスト利用入試					
		4教科型	3教科型	4教科型	3教科型		併用方式	単独方式				
								前期選考	後期選考			
法学部	法律学科	20	36	60	269	—	52	115	24	6		
	国際企業関係法学科	5	10	5	60	—	13	19	6	3		
	政治学科	5	20	20	128	—	26	52	12	6		
	計	30	66	85	457	—	91	186	42	15		
経済学部	経済学科	60		I	149	I	5	I	9	16	16	5
	II			99	II	3	II	6				
	経済情報システム学科	5			86		4		7	7	5	
	国際経済学科	10			126		5		12	11	11	5
	公共・環境経済学科	5			67		3		6	6	6	5
計	80			527		20		40	40	40	20	
商学部	経営学科				130		—			4教科型	3教科型	
					20		—			14	12	4
	会計学科				115		—			14	12	4
					40		—			—	—	—
	商業・貿易学科				120		—			14	12	4
					20		—			—	—	—
	金融学科				40		—			8	4	4
					15		—			—	—	—
	フリーメジャー(学科自由選択)・コース <sup>*1</sup>	70			—		—	20 <sup>*2</sup>		—	—	—
計	70			500		—	20	50	40	16		
理工学部	数学科	—			35		—	13		—	—	
	物理学科	—			33		—	10		5	—	
	都市環境学科	—			45		—	10		10	—	
	精密機械工学科	—			80		—	20		10	—	
	電気電子情報通信工学科	—			70		—	20		7	—	
	応用化学科	—			80		—	25		10	—	
	ビジネスデータサイエンス学科 <sup>*3</sup>	—			65		—	15		13	—	
	情報工学科	—			61		—	16		6	—	
	生命科学科	—			40		—	15		10	—	
	人間総合理工学科	—			35		—	13		9	—	
計	—			544		—	157		80	—		
文学部	人文社会学科	国文学専攻	7		29		若干名	—		40 <sup>*4</sup>	11	若干名
		英語文学文化専攻	7		77		—	—	—	11		
		ドイツ語文学文化専攻	3		22		—	—	—	6		
		フランス語文学文化専攻	3		34		—	—	—	5		
		中国言語文化専攻	3		23		—	—	—	6		
		日本史学専攻	3		43		—	—	—	5		
		東洋史学専攻	4		25		—	—	—	6		
		西洋史学専攻	4		25		—	—	—	6		
		哲学専攻	3		36		—	—	—	5		
		社会学専攻	3		47		—	—	—	5		
		社会情報学専攻	3		43		—	—	—	3		
		教育学専攻	3		32		—	—	—	3		
		心理学専攻	3		41		—	—	—	3		
		学びのパスポートプログラム	2		10		—	—	—	2		
計	51		487		若干名	—	40	77	若干名			
総合政策学部	政策科学科	16		50	5		—	15		19	5	
	国際政策文化学科	16		50	5		—	15		20	5	
	計	32		100	10		—	30		39	10	
国際経営学部	国際経営学科	10	20	70	20		10	7	17	3	3	
	計	10	20	70	20		10	7	17	3	3	
国際情報学部	国際情報学科	—		60	5		10	10	10	5		
	計	—		60	5		10	10	10	5		

注:表中「—」となっている箇所は募集がありません。

※1: 商学部フリーメジャー(学科自由選択)・コースは、出願時に学科の指定を行わず、合格後の入学手続時に各学科フレックス・コースのいずれか一つを選択することができます。また、1年次終了時に2年次以降の学科・コースを指定する機会があり、所属学科を自由に変更することができます。1年次の成績によっては、フレックスPlus1・コースへ変更することも可能です。

※2: フリーメジャー・コースは、A・Bそれぞれ10名の募集となります(A・BについてはP136参照)。

※3: 2021年4月より経営システム工学科から名称変更(構想中)。

※4: 共通テスト単独方式(前期選考)4教科型は、出願時に専攻・プログラムの指定を行わず、試験合格後の入学手続時に専攻・プログラムのいずれか一つを選択することができます。また、1年次終了時に2年次以降の専攻・プログラムを指定する機会があり、所属を変更することができます。